

「会長挨拶」

滝田浩一 会長挨拶

本日は、平成 29 年度第 1 回定期総会のご案内を致しましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中ご出席を頂き、このように盛大に定期総会が開催できますことを感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。

本日の定期総会には、公務多忙のなか、大臣官房審議官の椎葉茂樹様や、医政局看護課長の島田陽子様をはじめ、多数の国会議員の先生方もご臨席を頂きました。誠にありがとうございました。また、かねてから私どもの協会運営にご指導ご支援を頂いております、日本医師会及び四病院団体協議会、そして関係団体の皆様にもご出席を頂いております。ご来賓の皆様には心より厚く御礼申し上げます。

私は、昨年 3 月の設立総会にて会長に任命され、私なりに精一杯努力し協会の運営に携わって参りました。その間、副会長をはじめ役員の皆様、会員の皆様には格別のご支援ご協力を賜り、お蔭様をもちまして会長としての責務を何とか果たせてこれたのではないかと感じております。深く感謝致します。ありがとうございました。

団塊の世代が高齢社会となる 2025 年には、看護職は 200 万人必要とされております。今後 10 年でさらに 50 万人増員しなければならず、看護師不足が懸念されております。看護職の確保が急務となる中、今後求められるニーズは地域医療で介護職と一緒に地域住民を支える准看護師だと思っております。しかし近年、准看護師養成校に対する補助金削減等により、養成校は減少し准看護師は減少の一途を辿っております。これから先、准看護師が医療、介護、福祉の場において担う役割は大きく、准看護師制度を維持することは必ずや慢性的な看護師不足対策の一環を担うものだと思っております。

協会といたしましても 5 つの活動方針を掲げ、准看護師制度の存続、そして全国レベルで准看護師の更なる知識・技術の向上を目指した生涯教育体制への確立を目的に事業運営を行って参ります。平成 29 年度は組織強化及び各事業の飛躍の年と考え、全国各地で研修会の開催や情報提供及びホームページ確立等積極的に事業展開をすることとしております。

最後になりますが、本日提案しております各議案の審議がスムーズにいきますようご協力をお願いするとともに、会員の皆様の今後の益々のご健勝、ご活躍、ご発展をお祈り致しまして定期総会にあたっての挨拶とさせていただきます。



滝田会長の挨拶